

119番 だより



中央消防署 Tel 23-2013

大雨の対策は万全ですか？



火災・救急発生状況

種別	4月	累計	昨年比
建物	2	10	+3
林野	2	12	+8
車両	0	1	+1
その他	1	8	+5
救急	151	612	+17

●梅雨になると大雨・集中豪雨による災害が起こる可能性が高まります。

梅雨時期には、例年、全国各地で大雨や集中豪雨などによる災害が数多く発生しています。

大雨や集中豪雨は、時期や規模をある程度予測することができます。普段から気象情報に注意し、いざというときに備え、家庭ではもちろん、地域ぐるみで日頃から対策をとるようによみましょう。



●我が家の大雨・集中豪雨対策

- ◆雨に関する情報を注意深く聞く。
- ◆いつでも避難できる服を準備し、非常持出袋を用意する。
- ◆停電に備えて懐中電灯、ろうそく、携帯ラジオを用意する。
- ◆断水に備えて飲料水、生活用水を数日分確保する。風呂の水は抜かない。
- ◆浸水に備えて家財道具をできるだけ高い場所に移す。
- ◆高齢者や乳幼児、病人、障がいのある方などは、できるだけ安全な部屋（場所）に移る。

◎家族でもう一度、避難場所と避難コースを確認し合みましょう。

110番 だより



小林警察署 Tel 23-0110

忍び込み事件が急増中！



交通事故発生状況

種別	4月	累計	昨年比
人身	35	126	-10
物損	68	302	-41
死者	0	2	±0
負傷者	42	146	-16
全国死者	1434		(昨年同月比 -11)

●侵入犯罪被害の予防を

本年に入り、小林市、高原町の郊外において、深夜、就寝中の一般住宅に侵入して現金等を盗む、忍び込み事件が急増しています。

◆特徴

- ・国道、県道等の大通りから入り込んだ郊外の一軒家を狙う。
- ・無施錠のトイレや風呂場の窓等から侵入する。
- ・台所や居間等のテーブル、引き出し等、目につく場所を物色する。
- ・主に現金が目的。

◆被害防止対策

- ・玄関、勝手口はもちろんトイレや風呂場の窓も施錠する。
- ・外出時、就寝前の戸締りを習慣

づける。

- ・貴重品の保管は、鍵のかかる場所や目に付きにくい場所に保管する。
- ・自動車には貴重品を置かず、駐車後は確実にロックする。

◆不審者を見かけたら

犯人は明るい時間帯に下見をしている可能性があります。不審者、不審車両を見かけたら110番通報をしてください。車のナンバーチェックも忘れずに。

※我が家は大丈夫という油断をしないこと。

※特に除湿のために開けた風呂場やトイレの窓を開けっ放しにしないこと。

現

在、超音波検査は聴診器替わりといわれるほど普及した検査で、診療を行うにあたり欠かせない検査となっています。特に、心臓、甲状腺、乳癌検診時の乳腺検査、腹部領域での肝臓、胆嚢、膵臓、泌尿器科領域での腎臓、前立腺あるいは婦人科領域での子宮、卵巣検査と幅広く行われています。そのほかにも整形外科、脳外科、内科での関節リウマチなどでも超音波検査が活用されています。また、救急領域においてもFASTとして第一に行う検査として推奨されています。

超音波が実用化されたのは今からさかのぼること約100年前、潜水艦探知器を目的として開発され、魚群探知機への応用を経て現在に至っています。その間、機種の開発もめざましく、ノートパソコンのように持ち歩きが自由な器械もあります。また、点滴を行いな

ら検査を行う、造影超音波検査は、これまでの超音波検査では見逃されていた肝腫瘍の発見や、その良悪性の診断まで可能となりました。

私の専門は消化器外科ですが、手術中にも超音波検査は有用な検査です。お腹を開けた状態で、直接肝臓、胆嚢、膵臓にあてて検査を行い、腫瘍の確認、周囲の重要な血管との位置関係を確認し、切除を行います。

超音波検査は、時と場所を選ばず、被爆もない便利な検査ですが、弱点もあります。それは、空気は超音波を通すことができないことです。ガスの多い時期の腸の検査は難しいことがあり、食事を抜いて検査することが必要となります。

当院では超音波専門医師が検査を行っております。検査の希望、不明な点がありましたら声をおかけください。

元気の知恵袋

Vol.061

診療に欠かせない超音波検査



▲市立病院
消化器外科・腫瘍外科医長
おおどう まさはる
大堂 雅晴 さん

ヘルスマイトさんおすすめ

元気アップメニュー

Vol.063

さつまいもの団子

1人分約182kcal

健康推進員
梯タミさん(右)、赤崎京子さん(左)



●材料(2人分)

- ・さつまいも……50g
- ・団子粉……40g
- ・黒ごま……大さじ1/2
- ・きな粉……大さじ2
- ・砂糖……大さじ1
- ・塩……少々



●作り方

- ①さつまいもは茹でてつぶしておく。
- ②団子粉と①のさつまいもを合わせて団子にする。
- ③沸騰した湯に入れて茹でる。浮いて1分程度してから冷水に取りあげる。
- ④ざるにあげ水を切り、器に盛り付ける。
- ⑤ごま、きな粉、砂糖、塩を混ぜ④の団子にかけて出来上がり。

●味なワンポイント

私たち食生活改善推進員は乳幼児健診時に、保護者とお子様減塩の味噌汁とさつまいもの団子(季節や年齢で変えます)をおやつに提供しています。子どもにとっておやつは体と心の栄養のために必要なもの。さつまいもと団子粉を混ぜるとき、硬さを見ながらさつまいもの茹で汁で調整してください。さつまいもは食物繊維も多い食品です。